

記事を読んで、問いに答えなさい。

2020年7月16日朝刊

直木賞 馳星周さん

芥川賞は高山、遠野さん



遠野遙さん 高山羽根子さん 馳星周さん

第163回芥川賞、
直木賞（日本文学振興
会主催）の選考会が15
日、東京・築地の料亭
「新喜楽」で開かれ、
芥川賞は高山羽根子さ
ん(45)の「首里の馬」

（「新潮」3月号）と
受賞作では沖縄を舞台
に、主人公の女性と在
来種の馬の奇妙な出会
いをつづった。選考委
員の吉田修一さんは
「3回目の候補で『孤
独な場所とはどうい
う所か』を描こうとし
ているのが見えた」と評
した。

馳星周さんの「時の
人」2面へ
馳さんは故郷の北海
道浦河町の居酒屋で電
話連絡を受け、左手の
親指と人さし指で丸
印。「書けるだけ書き
続けたい」と喜んだ。
東京で記者会見した高
山さんは「もう少し書
いても大丈夫だと思え
ホッとした」、遠野さ
んは「みんなに好かれ
る作品とは思っていな
くて、歴史ある賞をい
ただけるのは驚き」と
語った。

高山さんは1975
年富山市生まれ、東京
都在住で2010年に
SF作品でデビュー。

遠野さんは91年神奈
川県生まれ、東京都在
住で19年に文芸賞を
受けデビュー。受賞作
は、体育会系の男性の
迷いのない内面とそ
の破綻を淡々と描い
た。「登場人物が新鮮
で主人公のアンバラ
ンさが魅力」と吉田さ
ん。平成生まれで初め
ての芥川賞受賞者とな
った。

65年生まれで長野県
在住の馳さんは、96年
「不夜城」でデビュ
ーし受賞多数のベテラ
ン。受賞作は、多様な

人物と交わりつつ旅を
続ける犬の道行きの先
に、思わぬ真実が浮か
ぶ連作短編集。選考委
員の宮部みゆきさんは
「善良なだけではいい
人物像は馳さんでない
と書けない。間違いな
く代表作だと思う」と
述べた。

①芥川賞と直木賞はそれぞれ誰が受賞したか。

芥川賞 ()
直木賞 ()

②3人の受賞作のうち、1つを選び、記事の本文を参考にして、その作品の紹介文を60字以内で書きなさい(句読点を含む)。

作品名 ()

紹介文

年 組 名前



Newspaper in Education

静岡新聞で学ぼう



静岡新聞

2020年7月16日朝刊

記事を読んで、問いに答えなさい。

解答例



遠野遥さん



高山羽根子さん



馳星周さん

直木賞 馳星周さん 芥川賞は高山、遠野さん

第163回芥川賞、
直木賞（日本文学振興
会主催）の選考会が15
日、東京・築地の料亭
「新喜楽」で開かれ、
芥川賞は高山羽根子さ
ん（45）の「首里の馬」
（新潮）3月号）と
遠野遥さん（28）の「破
局」（文芸）夏号）
の2作に、直木賞は馳
星周さん（55）の「少年
と犬」（文芸春秋）に
決まった。

「破局」は、主人公の女性と在来種の馬の奇妙な出会いをつづった。選考委員の吉田修一さんは「3回目の候補で『孤独な場所とはどういう所か』を描こうとしていたのが見えた」と評した。

「少年と犬」は、体育会系の男性の迷いのない内面とその破綻を淡々と描いており、登場人物が新鮮で主人公のアンバランスさが魅力の作品。（56字）

「首里の馬」は、多様な人物と交わりつつ旅を続ける犬の道行きの先に、思わぬ真実が浮かぶ連作短編集。善良なだけではない人物像が描かれている。（60字）

「破局」は、主人公の女性と在来種の馬の奇妙な出会いをつづった作品で、孤独な場所とはどういうところかを描いている。（57字）

「少年と犬」は、多様な人物と交わりつつ旅を続ける犬の道行きの先に、思わぬ真実が浮かぶ連作短編集。善良なだけではない人物像が描かれている。（60字）

「首里の馬」は、多様な人物と交わりつつ旅を続ける犬の道行きの先に、思わぬ真実が浮かぶ連作短編集。善良なだけではない人物像が描かれている。（60字）

「破局」は、主人公の女性と在来種の馬の奇妙な出会いをつづった作品で、孤独な場所とはどういうところかを描いている。（57字）

「少年と犬」は、多様な人物と交わりつつ旅を続ける犬の道行きの先に、思わぬ真実が浮かぶ連作短編集。善良なだけではない人物像が描かれている。（60字）

①芥川賞と直木賞はそれぞれ誰が受賞したか。

芥川賞（ **高山羽根子さん、遠野遥さん** ）
直木賞（ **馳星周さん** ）

②3人の受賞作のうち、1つを選び、記事の本文を参考にして、その作品の紹介文を60字以内で書きなさい（句読点を含む）。

（例）

「首里の馬」

沖繩を舞台に、主人公の女性と在来種の馬の奇妙な出会いをつづった作品で、孤独な場所とはどういうところかを描いている。（57字）

「破局」

体育会系の男性の迷いのない内面とその破綻を淡々と描いており、登場人物が新鮮で主人公のアンバランスさが魅力の作品。（56字）

「少年と犬」

多様な人物と交わりつつ旅を続ける犬の道行きの先に、思わぬ真実が浮かぶ連作短編集。善良なだけではない人物像が描かれている。（60字）

年 組 名前

作問者：静岡新聞NIEコーディネーター 矢沢和宏

（中学校～高校／国語、総合）